

## 図書館友の会 全国連絡会への回答

### (1) 公立図書館の振興・…についての考え

常日頃からの図書館の振興・発展への御活動に敬意を表します。

日本共産党は、公立図書館を国民の知る権利、学ぶ権利にこたえるための、基本的な機関として重視してきました。図書館に関する考えは、「図書館サービスの後退、『委託』を許さず、身近に使いやすい図書館を」にまとめ発表していますので、そちらをご覧ください。

URLはこちらです [5.7、図書館（2021 総選挙／各分野政策） | 各分野の政策（2021 年） | 日本共産党の政策 | 日本共産党中央委員会 \(jcp.or.jp\)](#)。

### (2) 議連の「5つの提言」についての考え

基本的に、現在の図書館を発展させていく内容であり、少なくない部分が上記の日本共産党の政策にもあります。

しかしながら、「公共図書館の将来」を展望するならば、図書館予算の抜本的な増額、公立図書館の増設による国際的にたいへん貧しい図書館環境を転換することがもっとも肝心なことだと考えます。

なお、首長の役割は、図書館の重要性、住民の図書館へのニーズを深く認識し、図書館のための予算の確保にあると考えます。この点で首長が積極的なイニシアティブをとることをおおいに期待します。同時に、管理運営については社会教育の政治からの独立性の重要性から、教育委員会のもとに引き続き置くことが重要だと考えます。

また、「新しい評価指標づくり」については、来館者数重視など図書館の役割を損ねないよう、図書館関係者と住民の意見がきちんと反映される、慎重な検討が重要だと考えます。